

3 設問別正答率一覧

平成30年度 学力定着状況確認問題 出題の趣旨一覧表

小学校第4学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	16	68.8
	主として「活用」に関する問題	4	24.1
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	47.4
	書くこと	5	31.2
	読むこと	7	61.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	71.8
評価の観点	話す・聞く能力	3	47.4
	書く能力	3	31.2
	読む能力	4	61.0
	言語についての知識・理解・技能	10	71.8
問題形式	選択式	5	62.5
	短答式	9	73.9
	記述式	6	36.7

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○			○		○			97.5
1	② 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○			○		○			97.5
1	③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○			○		○			68.1
1	④ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○			○		○			67.3
1	⑤ 文の中における主語、述語を捉える	○				○			○	○				68.0
1	⑥ 漢字の部首を理解する	○				○			○		○			71.9
1	⑦ 漢字の総画を理解する	○				○			○		○			91.5
1	⑧ ローマ字を正しく読む	○				○			○		○			49.3
2	⑨ 目的に応じて、中心となる語を捉える	○				○			○		○			89.2
2	⑩ 要点をメモしていることについて捉える	○	○				○				○			84.3
2	⑪ 文のつながりに注意して、文を正しく直す	○				○			○		○			61.2
2	⑫ 目的に応じて、質問をする		○	○	○		○					○		33.3
3	⑬ 前後の文脈から、適切な接続語を選択する	○				○	○			○	○			45.9
3	⑭ 目的に応じて、中心となる語や文を捉える	○				○			○			○		62.4
3	⑮ 目的に応じて、中心となる段落を捉える	○				○			○		○			59.4
3	⑯ 文章を引用して書く		○		○	○		○				○		11.1
4	⑰ 目的に応じて、意見を述べる		○	○	○		○						○	24.5
4	⑱ 目的に応じて、資料を選択する	○			○			○			○			54.9
4	⑲ 資料を関連付けて読み、適切な見出しを付ける	○			○			○			○			32.9
4	⑳ 目的に応じて感想を書く		○		○	○		○					○	27.5

小学校第4学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	13	63.7
	主として「活用」に関する問題	7	46.1
学習指導要領の領域	数と計算	7	67.3
	量と測定	3	70.5
	図形	3	40.8
	数量関係	7	49.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	9	51.6
	数量や図形についての技能	9	72.0
	数量や図形についての知識・理解	2	19.1
問題形式	選択式	2	61.4
	短答式	13	63.5
	記述式	5	40.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) ①	繰り下がりのある3位数-2位数の減法の計算をすることができる	○	○					○			○			82.8
1 (2) ②	3位数×2位数の整数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			71.2
1 (3) ③	3位数÷1位数の除法の計算をすることができる	○	○					○			○			70.9
1 (4) ④	整数と小数の加法の計算をすることができる	○	○					○			○			80.3
1 (5) ⑤	同分母分数の減法の計算をすることができる	○	○					○			○			91.2
2 ⑥	重さを測定することができる	○		○				○			○			92.7
3 ⑦	数直線上の数を分数であらわすことができる	○	○						○		○			12.7
4 (1) ⑧	示された数値をもとに、折れ線グラフの縦軸の目盛りのとり方を考えることができる	○			○				○		○			45.9
(2) ⑨	変わり方の様子が分かりやすい理由を根拠を明らかにして記述できる		○		○			○				○		12.4
5 ⑩	乗法の場面を、□を使った式に表すことができる	○			○				○		○			25.4
6 (1) ⑪	除法を活用して、基準量の半分の長さを求めることができる		○		○			○			○			57.7
(2) ⑫	比較量が基準量の何倍かを求めるために適した除法の式を選ぶことができる		○		○			○			○			63.1
7 ⑬	三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述できる		○		○			○				○		19.6
8 ⑭	示された半円から、円の中心を求めることができる	○			○				○		○			59.8
9 ⑮	余りの処理の仕方を記述できる		○	○					○			○		62.1
10 ⑯	地図上の2つの道のりの長さを比較して、長短を判断することができる		○		○				○			○		65.2
11 (1) ⑰	問題場面を線分図に表すことができる	○			○			○			○			82.9
(2) ⑱	加法の順思考と加法の逆思考を組み合わせた問題を解くことができる	○			○			○			○			58.9
12 ⑲	分度器を用いて180°よりも大きい角の大きさを測定することができる	○			○				○		○			53.4
13 ⑳	円の半径の求め方を長方形の横の長さから考え、記述できる		○		○				○			○		42.9

小学校第5学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	66.9
	主として「活用」に関する問題	3	33.1
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	64.2
	書くこと	4	37.1
	読むこと	6	60.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	74.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	64.2
	書く能力	4	37.1
	読む能力	5	60.3
	言語についての知識・理解・技能	8	74.2
問題形式	選択式	10	70.4
	短答式	6	61.8
	記述式	4	40.2

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○		○			97.7
1	② 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○		○			92.7
1	③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○				○		○			60.7
1	④ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	○				○				○	○				84.8
1	⑤ 文の中における主語、述語を捉える	○				○				○	○				68.4
1	⑥ ローマ字を正しく書く	○				○				○		○			49.9
1	⑦ 国語辞典の正しい使い方を理解する	○				○				○	○				65.4
1	⑧ 慣用句の意味を理解する	○				○				○	○				74.0
2	⑨ 話し合いの参加者として、発言の意図を捉える	○		○				○						○	61.3
2	⑩ 計画的に話し合うために、司会の役割について捉える	○		○				○				○			77.4
2	⑪ 話し手の意図を捉えながら聞き、的確に質問をする		○	○				○						○	54.0
3	⑫ 段落の内容を的確に捉え、適切な接続詞の使い方を理解する	○			○					○		○			84.5
3	⑬ 目的に応じて、文章の内容を的確に読み取り、中心となる語や文を捉える	○			○					○			○		35.0
3	⑭ 文章全体の構成を的確に捉える	○			○					○		○			49.5
4	⑮ 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える	○			○				○			○			67.9
4	⑯ 目的や意図に応じて、文章の書き方を工夫する	○			○				○				○		35.0
4	⑰ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く		○	○					○					○	28.9
5	⑱ 目的に応じて、中心となる語や文を捉える	○			○					○		○			63.0
5	⑲ 目的に応じて、複数の文章を選んで読む	○			○					○		○			69.6
5	⑳ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要約しながら読む		○	○	○				○					○	16.5

小学校第5学年 算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	59.3
	主として「活用」に関する問題	5	47.7
学習指導要領の領域	数と計算	9	60.7
	量と測定	5	49.0
	図形	3	58.0
	数量関係	3	38.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	5	47.7
	数量や図形についての技能	12	59.9
	数量や図形についての知識・理解	3	56.7
問題形式	選択式	6	65.9
	短答式	11	58.7
	記述式	3	28.8

設問別集計結果

設問番号		出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
					数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1	(1)	① 数を四捨五入して、概数で表すことができる	○	○					○	○					67.3
1	(2)	② 数量を□や△などを用いて表し、その関係を式にすることができる	○				○		○		○				85.5
1	(3)	③ 1/1000にした数を、小数点の位置に着目して求めることができる	○	○					○			○			59.4
2	(1)	④ 整数と小数の加法の計算をすることができる	○	○					○			○			71.5
2	(2)	⑤ 小数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			67.3
2	(3)	⑥ 除数が小数である場合の除法の計算を一の位まで行い、商と余りを求めることができる	○	○					○				○		46.8
2	(4)	⑦ 加法と除法の混合した整数の計算をすることができる	○	○					○			○			67.7
3	(1)	⑧ 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線に表すことができる	○	○							○	○			61.1
3	(2)	⑨ 1に当たる大きさを求める問題場面では、除数が1より小さい小数である場合でも除法を用いることを理解することができる	○	○							○		○		44.9
4	(1)	⑩ 直方体の容積を公式を用いて求めることができる	○		○					○			○		51.8
4	(2)	⑪ 体積の違いを筋道を立てて記述できる		○		○			○					○	13.4
5		⑫ 分度器を用いて角の大きさを測定することができる	○			○				○			○		64.6
6		⑬ 基準量と割合を基にして比較量を求めることができる	○	○					○			○			60.0
7		⑭ 合同な三角形をかくために必要な構成要素を理解している	○			○					○	○			64.2
8		⑮ 辺や面のつながりや位置関係に着目して、立方体の展開図をかく方法を考えることができる		○		○			○			○			72.3
9		⑯ 円の半径の求め方を長方形の辺の長さから考え、記述できる		○		○			○					○	37.5
10		⑰ 示された数値をもとに、折れ線グラフの縦軸の目盛りのとり方を考えることができる	○				○			○			○		39.3
11		⑱ 二次元表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	○				○			○			○		37.5
12	(1)	⑲ 問題場面に示された条件を基に、他の正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかを調べることができる		○	○				○				○		79.6
12	(2)	⑳ 面積が1cm ² 小さくなることの説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を言葉と式を用いて記述できる		○	○				○					○	35.7

小学校第5学年 社会

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	12	69.8
	主として「活用」に関する問題	8	52.9
学習指導要領の領域	身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	3	64.5
	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	2	76.6
	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	0	
	地域の人々の安全を守るための諸活動	3	77.0
	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	0	
	県の地形や産業、県内の特色ある地域	4	54.8
	我が国の国土の様子と国民生活との関連	5	52.1
評価の観点	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	3	68.0
	社会的事象への関心・意欲・態度	0	
	社会的な思考・判断・表現	6	51.5
	資料活用の技能	8	67.2
問題形式	社会的事象についての知識・理解	6	69.1
	選択式	9	68.5
	短答式	6	70.0
	記述式	5	45.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域							評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				身近な地域や市の地形・土地利用、公共施設などの様子	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	地域の人々の安全を守るための諸活動	地域の古い道具・文化財や年中行事・地域の発展に尽くした先人の具体的事例	県の地形や産業・県内の特色ある地域	我が国の国土の様子と国民生活との関連	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	社会的な思考・判断・表現	社会的な思考・意欲・態度	資料活用の技能	社会的な事象についての知識・理解	選択式		短答式
1 (1) ①	地図記号が表している建造物を判断することができる。	○	○												○	○		90.8
1 (2) ②	町の地図から、正しい内容を読み取ることができる。	○	○											○	○			62.3
1 (3) ③	大型ショッピングセンターが大きい道路沿いにある理由について説明することができる。		○	○									○				○	40.4
2 (1) ④	スーパーマーケットで働く人の様子や工夫について理解している。	○			○										○	○		74.7
2 (2) ⑤	資料をもとに、スーパーマーケットの商品が海外からも運ばれてくることを説明することができる。		○		○								○				○	78.5
3 (1) ⑥	山口県で起こった事件の数をグラフから正確に読み取ることができる。	○				○								○			○	81.4
3 (2) ⑦	町の安全を守るために、警察の人だけではなく、いろいろな人が協力・連携していることを資料から読み取ることができる。	○					○							○			○	65.6
3 (3) ⑧	会話の内容に、必要のない資料を判断することができる。		○					○								○		83.9
4 (1) ⑨	山口県の地形図と断面図を重ねて、情報を読み取ることができる。		○							○					○	○		49.5
4 (2) ⑩	縮尺を理解し、山口県の地図を見て、実際の距離を求めることができる。	○								○					○	○		68.2
5 (1) ⑪	交通の様子を表した地図から、高速道路や鉄道が多い方位を判断することができる。	○								○					○		○	63.1
5 (2) ⑫	交通の様子を表した地図から、山口県は海外の国ともつながっていることを条件にあわせて、説明することができる。		○							○							○	38.4
6 (1) ⑬	日本と関わりのある国の名称や位置を理解している。	○											○		○	○		68.6
6 (2) ⑭	日本の位置を大陸の名称等を活用して、説明することができる。	○											○			○		38.3
6 (3) ⑮	日本の領土の範囲を理解している。	○												○	○			61.3
7 (1) ⑯	日本の気候に関係している季節風について理解している。	○													○	○		80.8
7 (2) ⑰	平均気温と降水量の特徴をもとに、地域を判断することができる。また、日本海側の気候の特徴について、説明することができる。		○										○				○	11.5
8 (1) ⑱	米作りに関わる作業時間に関わる資料を選ぶことができる。	○												○		○		83.0
8 (2) ⑲	米作りについて、自分の考えを確かめるために必要な資料を選択することができる。		○											○		○		64.8
8 (3) ⑳	米の販売方法の工夫を説明することができる。		○											○			○	56.2

小学校第5学年 理科

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	61.5
	主として「活用」に関する問題	5	49.9
学習指導要領の領域	物質	3	65.3
	エネルギー	7	54.4
	生命	8	60.3
	地球	2	56.0
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	
	科学的な思考・表現	6	50.0
	観察・実験の技能	5	61.8
	自然事象についての知識・理解	9	62.5
問題形式	選択式	11	61.8
	短答式	6	51.0
	記述式	3	62.0

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
						物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1	(1)	①	目的に応じて予想を設定することができる	○							○	○				93.9
1	(2)	②	変える条件とそろえる条件を判断できる	○							○		○			52.7
2	(1)	③	複数の平面鏡で物に日光を当てると、その場所が暖かくなることを理解している		○	○				○					○	66.9
2	(2)	④	虫めがねは日光を焦点に集めることを理解している		○	○				○			○			17.6
3	(1)	⑤	豆電球の明かりがつかない原因として考えられることを予想することができる		○	○				○			○			41.7
3	(2)	⑥	回路という用語を理解している		○						○		○			46.2
3	(3)	⑦	直列つなぎのつなぎ方を理解している		○						○	○				62.0
4	(1)	⑧	体の曲がるころの用語を理解している		○			○				○	○			83.7
4	(2)	⑨	体の動く仕組みについて理解している		○			○				○	○			64.1
5	(1)	⑩	閉じ込められた空気は元の状態に戻ろうとする性質があることを理解している		○	○					○	○				63.2
5	(2)	⑪	押し縮められた空気は元の状態に戻ろうとする性質があることを理解している		○	○				○			○			70.1
5	(3)	⑫	水は圧しても体積は変わらないという水の性質を理解している		○	○					○			○		62.8
6	(1)	⑬	目的に応じて実験の条件を設定することができる		○						○	○				66.9
6	(2)	⑭	インゲンマメが育ってしおれた子葉が、インゲンマメの種子のどの部分にあたるかを理解している		○			○				○	○			36.4
6	(3)	⑮	インゲンマメが育って子葉がしおれた理由を理解している		○			○					○			47.1
7	(1)	⑯	1日の気温の調べ方を理解している		○				○			○				55.5
7	(2)	⑰	天気と1日の気温の変化を関係付けて考察することができる		○				○					○		56.5
8	(1)	⑱	メダカを入れた水そうを置く場所を理解している		○			○				○	○			87.2
8	(2)	⑲	メダカのめずとおすの見分け方を理解している		○			○				○	○			57.5
8	(3)	⑳	対物レンズがどの位置にあるかを理解している		○			○					○			39.9

小学校第6学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	69.7
	主として「活用」に関する問題	6	34.4
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	81.2
	書くこと	5	33.2
	読むこと	8	48.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	69.5
評価の観点	話す・聞く能力	2	81.2
	書く能力	3	33.2
	読む能力	6	48.9
	言語についての知識・理解・技能	9	69.5
問題形式	選択式	10	66.8
	短答式	7	59.1
	記述式	3	33.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	一	①	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○						○		○		98.9
1	一	②	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○						○		○		96.9
1	一	③	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○						○		○		46.8
1	二	④	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○						○	○			63.9
1	三	⑤	文の中における主語と述語を捉える	○						○	○			75.4
1	四	⑥	ローマ字を正しく書く	○						○		○		57.2
1	五	⑦	慣用句の意味を知り、使うこと	○						○	○			76.4
1	六	⑧	主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分ける	○						○		○		57.4
2	一	⑨	話し合いの参加者として、質問の意図を捉える	○		○				○		○		83.8
2	二	⑩	互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う	○		○				○		○		78.6
2	三	⑪	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる		○	○	○						○	39.3
3	一	⑫	筆者の説明の工夫や文章構成をとらえる	○			○			○		○		66.7
3	二	⑬	文章の内容を的確に押さえて、筆者の主張を捉える		○		○			○		○		31.1
3	三	⑭	ことわざの意味を知り、使うこと	○				○			○			52.5
4	一	⑮	目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える		○		○	○			○			50.0
4	二	⑯	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く		○		○	○					○	34.0
4	三	⑰	推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える	○			○	○			○			64.1
5	一	⑱	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく		○		○	○					○	26.4
5	二	⑲	目的に応じて、自分の考えを明確にしながらかく		○		○			○			○	25.3
5	三	⑳	目的に応じて、複数の本や文章などを読んで読む	○				○			○			56.5

小学校第6学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	68.4
	主として「活用」に関する問題	5	43.9
学習指導要領の領域	数と計算	10	66.9
	量と測定	3	51.0
	図形	3	61.4
	数量関係	4	59.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	5	43.9
	数量や図形についての技能	11	72.5
	数量や図形についての知識・理解	4	57.0
問題形式	選択式	6	57.8
	短答式	12	67.6
	記述式	2	43.5

設問別集計結果

設問番号		出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
					数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1	(1)	① 異分母の分数の加法の計算をすることができる	○	○					○			○			69.2
1	(2)	② 小数と分数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			71.7
2	(1)	③ 億や万の大きな数を数字で表すことができる	○	○					○			○			82.7
2	(2)	④ 小数の除法の計算のきまりを理解している	○	○						○		○			69.3
2	(3)	⑤ 計算のきまりを使って、工夫して計算することができる	○	○					○			○			74.7
2	(4)	⑥ 数を四捨五入して、概数で表すことができる	○	○					○			○			68.2
3		⑦ 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	○			○				○	○				35.7
4	(1)	⑧ 1に当たる大きさを求める問題場面における数量関係を理解し、数直線に表すことができる	○	○								○	○		74.6
4	(2)	⑨ 1に当たる大きさを求める問題場面では、除数が1より小さい分数である場合でも除法を用いることができる	○	○								○	○		48.4
5		⑩ 辺や面のつながりや位置関係に着目して、立方体の展開図をかく方法を考えることができる		○		○			○			○			57.5
6		⑪ 円の面積の公式を活用して、複合図形の面積を求めることができる		○			○		○				○		52.0
7		⑫ 公式を使って平均を求めることができる	○						○			○			72.3
8	(1)	⑬ 直方体の容積を公式を用いて求めることができる	○						○			○			58.2
8	(2)	⑭ 体積の違いを筋道を立てて記述できる		○		○			○					○	22.5
9		⑮ xやyを用いて、数量の関係を式に表すことができる	○				○		○			○			87.7
10		⑯ 比例関係に着目し、正六角形のまわりの長さを求めることができる	○				○		○			○			93.1
11		⑰ 点対称の図形をかくことができる	○				○		○			○			74.7
12		⑱ 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる		○			○		○			○			23.2
13	(1)	⑲ 2000cmで足りるわけを、根拠を明らかにして記述できる	○	○					○				○		64.5
13	(2)	⑳ 最大公約数を活用して、切り分ける正方形の大きさが最大になる場合の一辺の長さを求めることができる	○	○					○				○		45.4

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	71.2
	主として「活用」に関する問題	11	63.3
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	58.9
	書くこと	2	52.5
	読むこと	10	69.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	70.7
評価の観点	話す・聞く能力	2	58.9
	書く能力	2	52.5
	読む能力	9	69.1
	言語についての知識・理解・技能	12	70.7
問題形式	選択式	10	73.9
	短答式	12	67.3
	記述式	3	48.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1-1-あ	1) 文脈に即して、適切な語句を選択する (目ざとく)	○				○	○			○					53.7
1-1-い	2) 文脈に即して、適切な語句を選択する (おそるおそる)	○				○	○			○					94.4
1-2-	3) 「あどけない」の意味として適切なものを選択する	○					○			○					70.3
1-3-A	4) 文章の展開に即して内容を理解する		○			○				○			○		48.4
1-3-B	5) 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する		○			○				○			○		87.7
1-4-	6) 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる		○		○	○			○					○	37.3
2-1- ⁽¹⁾ ア	7) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○			○				○			○		89.9
2-1- ⁽¹⁾ イ	8) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○			○				○			○		76.5
2-1- ⁽²⁾	9) 目的に応じて必要な情報を読み取る		○			○				○				○	41.4
2-1- ⁽³⁾	10) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○			○				○			○		61.1
2-2-	11) 内容を正確に捉えて、該当するもの選ぶ		○			○				○			○		68.5
3-1- ⁽¹⁾	12) 文脈に即して正しく漢字を書く (納める)	○					○			○			○		60.6
3-1- ⁽²⁾	13) 文脈に即して正しく漢字を書く (成績)	○					○			○			○		44.7
3-1- ⁽³⁾	14) 文脈に即して正しく漢字を書く (発展)	○					○			○			○		64.3
3-1- ⁽⁴⁾	15) 文脈に即して正しく漢字を読む (ほうふ)	○					○			○			○		89.8
3-1- ⁽⁵⁾	16) 文脈に即して正しく漢字を読む (さげる)	○					○			○			○		76.5
3-2- ⁽¹⁾	17) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (慣用句 味をしめる)	○					○			○	○				59.0
3-2- ⁽²⁾	18) 時と場に応じて、適切な敬語を使う (謙譲語 いただく)	○					○			○	○				86.9
3-2- ⁽³⁾	19) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (ことわざ ねこに小判)	○					○			○	○				74.1
3-3-	20) 文脈に即して接続詞を適切に使う	○					○			○	○				73.1
4-1-あ	21) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す	○					○			○			○		63.8
4-2-い	22) 古文 (和歌) 特有のリズムについて指摘する	○					○			○			○		85.2
5-1-	23) 司会の果たす役割や進め方を理解する		○	○					○				○		73.3
5-2-	24) 話題の要点や話し合いの方向性を理解する		○	○					○				○		44.6
5-3-	25) 異なる意見を受け入れながらも、自分の考えをもち話し合いができる		○	○	○				○					○	67.7

中学校第1学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	67.9
	主として「活用」に関する問題	7	54.4
学習指導要領の領域	数と式	15	64.5
	図形	4	60.0
	関数	2	70.1
	資料の活用	3	62.4
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	5	47.5
	数学的な技能	14	66.2
	数量や図形などについての知識・理解	5	74.3
問題形式	選択式	6	69.9
	短答式	16	63.3
	記述式	2	51.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1	(1) ① 分数の乗法の計算ができる	○		○					○				○			88.0
	(2) ② 計算のきまりにしたがって計算することができる	○		○					○				○			72.1
	(3) ③ 指数を含む正の数と負の数の計算をすることができる	○		○					○				○			69.4
	(4) ④ 絶対値の意味を理解している	○		○						○						82.0
	(5) ⑤ 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	○		○						○			○			80.1
	(6) ⑥ 2数の和、差、積、商の符号を理解している	○		○						○	○					54.8
2	(1) ⑦ 整式の減法の計算ができる	○		○					○				○			49.1
	(2) ⑧ 長方形の縦と横の長さの比から、横の長さを求めることができる	○		○					○				○			80.8
	(3) ⑨ 速さ、時間、道のりの関係から、時間を求めることができる	○		○					○				○			70.2
3	(1) ⑩ 商、積、余りの関係を文字式で表すことができる	○		○					○				○			37.3
	(2) ⑪ 基準量を基に比較量を求めることができる	○		○					○			○				43.3
	(3) ⑫ 文字式の意味を、具体的な事象に関連付けて理解している	○		○					○			○				79.3
4	(1) ⑬ 比例の意味を理解している	○			○					○		○				82.9
	(2) ⑭ 比例関係を用いて、具体量を求めることができる		○			○				○			○			57.3
5	(1) ⑮ 展開図から立体を読み取ることができる	○			○				○			○				87.6
	(2) ⑯ 半径の異なる2つ円の円周の長さを比較することができる		○			○				○			○			20.7
6	(1) ⑰ 合同な三角形をかくための条件を理解している	○			○					○		○				71.5
	(2) ⑱ 線対称な図形をかくことができる	○			○					○			○			—
7	⑲ 平行四辺形の面積の求め方を基にして、台形面積を求めることができる		○			○			○					○		60.1
8	(1) ⑳ 組み合わせについて、落ちや重なりがないように求めることができる	○					○			○			○			68.1
	(2) ㉑ 複数の条件がある組み合わせについて、落ちや重なりがないように求めることができる	○					○			○			○			38.1
	(3) ㉒ 二次元の表を用いて、情報を分類・整理することができる		○				○		○				○			80.9
9	(1) ㉓ 考察の対象になっている数量を明確に捉えることができる		○		○					○			○			85.8
	(2) ㉔ 事象における数量の関係から求めたい数量を式を使って表すことができる		○		○					○			○			32.5
	(3) ㉕ 事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができる		○		○					○				○		43.1

中学校第2学年 国語

分類・区別別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	16	60.2
	主として「活用」に関する問題	9	57.6
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	81.3
	書くこと	3	44.0
	読むこと	6	56.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	60.5
評価の観点	話す・聞く能力	2	81.3
	書く能力	3	44.0
	読む能力	6	56.8
	言語についての知識・理解・技能	14	60.5
問題形式	選択式	13	71.3
	短答式	9	47.0
	記述式	3	44.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	(1) ①	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (至難の業)	○				○			○	○			97.1
1	(2) ②	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (意気揚々と)	○				○			○	○			86.3
1	二 ③	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	○			○			○		○			50.0
1	三 ④	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する		○		○			○				○	41.5
1	四 ⑤	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する		○		○			○		○			77.4
2	一 ⑥	文脈に即して接続詞を適切に使う	○			○			○		○			67.7
2	二 ⑦	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○		○			○			○		49.9
2	三 ⑧	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○		○			○			○		29.1
2	四 ⑨	内容を正確に捉えて、該当するもの選ぶ		○		○			○		○			67.1
3	一 ⑩	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す (とふ)	○				○			○		○		74.7
3	一 ⑪	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す (うちをとさん)	○				○			○		○		64.3
3	二 ⑫	口語訳を参考に、原文から会話部分を抜き出す (空の星がほども落ちぬ)	○				○			○		○		19.5
3	三 ⑬	作品の主題や作者の思いを想像して説明する		○		○			○				○	38.3
4	(1) ⑭	文脈に即して漢字を正しく書く (訪問)	○				○			○		○		65.8
4	(2) ⑮	文脈に即して漢字を正しく書く (支持)	○				○			○		○		26.2
4	(3) ⑯	文脈に即して漢字を正しく読む (しゅうとく)	○				○			○		○		37.1
4	(4) ⑰	文脈に即して漢字を正しく読む (いた)	○				○			○		○		56.2
4	二 (1) ⑱	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (慣用句 さじを投げる)	○				○			○	○			66.6
4	二 (2) ⑲	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (ことわざ 弱り目にたたり目)	○				○			○	○			67.9
4	二 (3) ⑳	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (四字熟語 一日千秋)	○				○			○	○			59.8
4	三 ㉑	文節相互の関係について理解している	○				○			○	○			42.1
4	四 ㉒	手紙文の形式について理解している	○				○			○	○			82.6
5	一 ㉓	相手の意図をくみ取り、それを受けた質問ができる		○	○				○			○		75.6
5	二 ㉔	知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問ができる		○	○				○			○		87.0
5	三 ㉕	条件に照らして、目的や相手を意識した表現ができる		○		○			○				○	52.3

中学校第2学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	53.1
	主として「活用」に関する問題	6	40.3
学習指導要領の領域	数と式	12	53.1
	図形	6	35.4
	関数	5	56.7
	資料の活用	2	58.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	4	31.5
	数学的な技能	14	51.6
	数量や図形などについての知識・理解	7	57.6
問題形式	選択式	5	55.4
	短答式	18	51.5
	記述式	2	23.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1 (1) ①	小数と分数の乗法の計算ができる	○		○						○			○			58.2
1 (2) ②	計算のきまりにしたがって計算することができる	○		○						○			○			73.8
1 (3) ③	数の集合と四則計算の可能性について理解している	○		○							○		○			56.6
1 (4) ④	与えられた場面を解決する式を選ぶことができる	○									○		○			50.0
2 (1) ⑤	整式どうしの減法の計算ができる	○		○						○			○			74.3
2 (2) ⑥	数量を文字式で表すことができる	○		○						○			○			35.6
2 (3) ⑦	等式を目的に応じて変形することができる	○		○						○			○			66.1
2 (4) ⑧	連立方程式を解くことができる	○		○						○			○			57.6
2 (5) ⑨	基準量を求め、文字を使った式で表すことができる	○		○						○			○			50.7
2 (6) ⑩	2桁の自然数を文字式で表すことができる	○		○						○			○			49.7
3 (1) ⑪	与えられた数値を式に代入して式をつくり、つりあう距離をもとめることができる	○				○				○			○			59.5
3 (2) ⑫	比例の関係を式に表すことができる	○				○				○			○			38.2
4	⑬ 反比例の特徴を理解している	○				○					○		○			55.4
5	⑭ 折り目の線分に表れる図形の特徴を理解し、適切な作図方法を選ぶことができる	○				○					○		○			44.1
6 (1) ⑮	円柱の表面積を求めることができる	○				○				○			○			25.1
6 (2) ⑯	90°の回転移動を正しく選ぶことができる	○				○					○		○			54.2
6 (3) ⑰	立方体に見られる線分の位置関係を理解し、線分によって作られる角の大きさを求めることができる	○				○					○		○			55.2
7 (1) ⑱	比例関係にある2つの数量を見いだすことができる		○							○			○			70.8
7 (2) ⑲	比例関係を利用して、必要な数量を求めることができる		○							○			○			59.8
8 (1) ⑳	文字を用いて立体の体積を表すことができる	○				○				○			○			17.7
8 (2) ㉑	立体の体積の大きさの違いを求める方法を説明することができる		○			○					○			○		16.1
9 (1) ㉒	度数分布表を理解している	○					○				○		○			87.4
9 (2) ㉓	判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる		○				○			○				○		30.4
10 (1) ㉔	与えられた情報を適切に処理することができる		○	○							○		○			56.2
10 (2) ㉕	与えられた情報を適切に処理し、立式することができる		○	○						○			○			8.5

中学校第2学年 社会（地理的分野）

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
問題	主として「知識」に関する問題	5	53.2
	主として「活用」に関する問題	8	45.4
学習指導要領の領域	世界の地域構成	2	63.9
	世界各地の人々の生活と環境	3	71.1
	世界の諸地域	3	25.8
	世界のさまざまな地域の調査	1	39.8
	日本の地域構成	2	37.3
	世界と比べた日本の地域的特色	2	55.9
	社会的事象への関心・意欲・態度	0	
評価の観点	社会的な思考・判断・表現	4	38.2
	資料活用の技能	5	57.6
	社会的事象についての知識・理解	4	52.5
	選択式	8	61.9
問題形式	短答式	3	34.7
	記述式	2	25.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式			県全体正答率（％）	
				世界の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	世界のさまざまな地域の調査	日本の地域構成	世界と比べた日本の地域的特色	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な思考・判断・表現	社会的な事象についての知識・理解		選択式
1 (1) ①	地図上の緯線・経線について理解している	○	○									○	○				57.7
1 (2) ②	主な大陸の位置関係を理解している	○	○									○	○				70.1
2 (1) ③	写真や資料から亜寒帯（冷帯）の特色を読み取ることができる		○	○							○		○				59.2
2 (1) ④	写真や資料から温帯の特色を読み取ることができる		○	○							○		○				88.3
2 (2) ⑤	雨温図を読み取り、暮らしの様子と関連付けることができる		○	○						○			○				65.9
3 (1) ⑥	資料から読み取った割合をもとにフランスの小麦の生産量を求めることができる		○			○					○			○			39.8
3 (2) ⑦	ヨーロッパの農業の特徴について理解している	○		○								○		○			21.0
3 (3) ⑧	資料からヨーロッパの諸国がEUに加盟している理由について、説明することができる		○		○						○				○		12.1
4 ⑨	アメリカの産業の特色から都市を選ぶことができる		○		○						○		○				44.4
5 (1) ⑩	日付変更線について理解している	○						○				○		○			61.1
5 (2) ⑪	日本との時差をもとに、現地時間を求め、求め方を説明することができる		○					○			○				○		13.5
6 (1) ⑫	資料から、主な鉱産資源の分布について読み取ることができる		○					○			○		○				50.2
6 (2) ⑬	再生可能エネルギーについて理解している	○						○				○	○				61.6

中学校第2学年 社会（歴史的分野）

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
問題	主として「知識」に関する問題	7	53.2
	主として「活用」に関する問題	5	45.4
学習指導要領の領域	歴史のとらえ方	4	65.3
	古代までの日本	3	35.9
	中世の日本	4	42.1
	近世の日本	1	46.9
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	
	社会的な思考・判断・表現	4	38.2
	資料活用技能	1	57.6
	社会的事象についての知識・理解	7	52.5
問題形式	選択式	7	61.9
	短答式	2	34.7
	記述式	3	25.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率（%）
				歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用技能	社会的な事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
7 (1) ⑭	古代の時代の流れについて理解している	○	○						○	○				71.0
7 (2) ⑮	時代ごとの主な人物を理解している	○	○						○	○				74.6
8 (1) ⑯	日明貿易で勘合が使われた目的を説明することができる		○		○			○					○	35.3
8 (2) ⑰	聖徳太子が行った政策を理解している	○			○				○	○				64.0
8 (3) ⑱	奈良時代の土地制度に関するきまりを理解している	○			○				○		○			24.3
8 (4) ⑲	時代の名称とその時代の特徴的なできごととを結び付けて理解している		○	○				○			○			48.1
9 (1) ⑳	藤原氏が勢力を伸ばした理由を説明することができる		○		○			○					○	19.2
9 (2) ㉑	応仁の乱について理解している	○			○				○		○			27.2
9 (3) ㉒	豊臣秀吉が行った政策を理解している	○			○				○	○				75.3
10 (1) ㉓	鎌倉時代に起こったできごとを理解している	○			○				○	○				30.5
10 (2) ㉔	資料から幕府が参勤交代を定めた目的を読み取ることができる		○			○		○					○	46.9
10 (3) ㉕	将軍と武士の関係を時代の特徴に結び付けて理解している		○	○				○			○			67.5

中学校第2学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	51.4
	主として「活用」に関する問題	6	38.9
学習指導要領の領域	物質	9	47.9
	エネルギー	3	51.1
	生命	7	57.8
	地球	6	36.7
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	
	科学的な思考・表現	9	44.7
	観察・実験の技能	5	46.5
	自然事象についての知識・理解	11	52.2
問題形式	選択式	8	46.8
	短答式	10	57.0
	記述式	7	37.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) ①	顕微鏡を正しく操作することができる	○			○				○		○			60.4
1 (2) ②	葉の内部の細胞の中に見られる緑色の粒が葉緑体であることを理解している	○			○				○		○			91.8
1 (3) ③	光合成に関わる物質とそれらを取り入れたり、排出したりするしくみを理解している	○			○			○		○				69.0
1 (4) ④	対照実験で変える条件と変えない条件について理解している		○		○			○		○				44.4
2 (1) ⑤	有機物が炭素をふくみ、燃えて二酸化炭素を発生する物質であるということを理解している	○	○						○		○			65.4
2 (2) ⑥	炭酸水素ナトリウムが熱分解されると気体が発生することについて説明できる		○	○				○				○		23.9
2 (3) ⑦	実験結果をふまえて、3種類の物質を特定することができる	○	○					○			○			56.8
3 (1) ⑧	水上置換法が、水にとけにくい気体の捕集に適していることについて理解している	○	○						○				○	56.0
3 (2) ⑨	酸素の性質と確認方法について理解している	○	○						○				○	34.8
3 (3) ⑩	酸素の発生方法について理解している	○	○						○	○				51.2
4 (1) ⑪	力を矢印で表すことができる	○		○					○				○	62.4
4 (2) ⑫	力と圧力の違いを理解している	○		○					○	○				38.4
4 (3) ⑬	圧力と面積の関係について理解している		○	○				○			○			52.6
5 (1) ⑭	地震の波の速さの違いを理解している	○			○				○		○			57.5
5 (2) ⑮	グラフや表の数値を基に地震発生時刻を求めることができる		○		○			○			○			48.2
5 (3) ⑯	震源からの距離と地震の波が伝わった時刻を基に、初期微動継続時間を求めることができる		○		○			○			○			38.7
6 (1) ⑰	火成岩の組織の違いを理解している	○			○				○		○			30.1
6 (2) ⑱	石灰岩とチャートを識別する方法を理解している	○			○				○				○	19.1
6 (3) ⑲	示準化石の定義とその生物が生きていた時代について理解している	○			○				○	○				26.3
7 (1) ⑳	化学かいはら、鉄の酸化を利用していることを理解している	○	○						○		○			51.2
7 (2) ㉑	化学変化と熱の出入りについて理解している	○	○						○		○			66.5
7 (3) ㉒	化学かいはらが鉄の酸化による発熱反応を利用したものであることを理解している		○	○				○					○	25.6
8 (1) ㉓	小腸の柔毛で吸収された栄養分が全身に運ばれるしくみを理解している	○			○				○	○				36.8
8 (2) ㉔	血しょうと組織液の関係について理解している	○			○				○		○			59.0
8 (3) ㉕	細胞呼吸について理解している	○			○			○					○	43.0

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	64.3
	主として「活用」に関する問題	6	23.8
学習指導要領の領域	聞く	8	83.0
	読む	11	50.8
	書く	6	23.8
評価の観点	表現	6	23.8
	理解	16	69.1
	言語・文化	3	38.8
問題形式	選択式	16	67.7
	短答式	3	46.2
	記述式	6	23.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				聞く	読む	書く	表現	理解	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
1 (1) ①	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○	○				○		○				97.7
1 (2) ②	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○	○				○		○				90.7
2 (1) ③	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				73.2
2 (2) ④	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				77.9
2 (3) ⑤	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				79.7
3 (1) ⑥	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				77.8
3 (2) ⑦	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				86.1
3 (3) ⑧	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				80.6
4 (1) ⑨	英文を読み、内容に合う適切な語を選ぶ	○		○					○	○			37.5
4 (2) ⑩	英文を読み、内容に合う適切な語を選ぶ	○		○					○	○			57.5
4 (3) ⑪	英文を読み、内容に合う適切な語を選ぶ	○		○					○	○			21.2
5 (1) ⑫	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○		○			○		○				86.8
5 (2) ⑬	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○		○			○		○				25.7
5 (3) ⑭	英語で書かれた情報を読み取り、空所に入る適切な語を答える	○		○			○		○				48.8
6 (1) ⑮	英文を読み、その内容が適切な順に並べられた答えを選ぶ	○		○			○		○				78.5
6 (2) ⑯	英文の内容から判断して、タイトルとして適切な表現を選ぶ	○		○			○		○				64.0
7 (1) ⑰	文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		15.5
7 (2) ⑱	文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		27.9
7 (3) ⑲	文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		25.8
8 (1)ア ⑳	英文を読み、その内容に関する質問に答える	○		○			○			○			60.5
8 (1)イ ㉑	英文を読み、その内容に関する質問に答える	○		○			○			○			54.4
8 (2) ㉒	英語で書かれた情報を読み取り、質問に英語で答える	○		○			○			○			23.6
8 (3) ㉓	条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		23.0
8 (4) b) ㉔	条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		26.2
8 (4) c) ㉕	条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		24.6